11 D J S 100	CEN 1 001	To a		N 0 2	## 7## 'r= == ·	/(\d. ===\				
科目ナンバー	SEM-1-001	-ky		科目名	基礎演習		;;; /- <u>+</u> */-	2		
教員名	後藤 さゆり			開講年度学期			単位数			
概要	この授業は大学での「学び方を学ぶ」ものです。高校と大学では、学び方が違います。大学生としての学び方を学ぶのが本演習です。演習の内容は、学術情報収集の方法(図書館の利用法・資料・文献検索法)、授業理解のための聞く技術・読む技術、討論の方法・技術、プレゼンテーションの技術およびレポート作成の技術などを学ぶことになります。									
到達目標	深め、能力を す。本演習は	戦を持ち、課題を発見 高めていくことが、 ブ は、これからの大学生 らいとしています。	大学における	う学びです。 これ	は社会に出	てからも続く、	学びのあり	方で		
「共愛12の力」と										
識見		自律する力		コミュニケーションカ		問題に	問題に対応する力			
共生のための知	識	自己を理解する力		伝え合う力	0	分析し、	思考する力	J O		
共生のための態	度	自己を抑制する力	0	協働する力	0	構想し、	実行する力	J		
グローカル・マイ ンド		主体性	0	関係を構築す	る力	実践的	スキル	0		
教授法及び課題 フィードバック方 法	える えいます。演ぶ 本授業の前	、演習・実習形式(パ . 教育に関わる講演会 習内容については、川 前半は、個々の課題に なまえた発展課題をク を伝えます。	会を開いたり 頂序が前後で 応じた取り	ルます。また、乳 することもありま 組みとレポート‡	朗睦を深める :す。 是出及び発き	るためのレクリ 表を行います。	エーションも 後半は、各	行 自の課		
アクティブラーニ	ング	サービス:	ラーニング		課題	解決型学修		0		
受講条件 前科目	提本演習は、	児童教育コース1年の	の必修授業	です。						
アセスメントポリシー及び評価方	分の1以上 本演習及び らびにリータ	平常点・授業及び課題への取り組み(50%)レポートの内容・発表について(50%)なお、全授業回数の3分の1以上の欠席者は不合格にします。 本演習及び課題への取り組みでは、コミュニケーションスキルとしての伝え合う力や協働する力、ならびにリーダーシップ、自己を抑制する力、主体性を総合的に評価します。また、レポートの内容・発表では課題理解度、分析し思考する力、実践的スキルを総合的に評価します。								
教材 学びの技		たに関わる文献資料を教材とします。								
参考図書	各担当から	適宜紹介します。								
内容・スケジュー	·ル									
1週目										
授業学修内容	児童教育コース	スへようこそゼミオリ	エンテーショ	シ自己紹介他						
授業外学修内 容	大学での学び と。	に関する文献を参考	に、前期に	学びたいことをき	まとめておく	時間	引数 1			
2週目										
授業学修内容	情報収集の方	法1資料・文献の探し	ン方(入手の	仕方のいろいろ	ら、インターネ	トットによる情	報収集)			
授業外学修内 容	図書館「聞蔵   でおくこと。	図書館「聞蔵IIビジュアル」で教育・子供に でおくこと。		するテーマで記事を検索し読ん		ん 時間	雪数 2			
3週目										
授業学修内容	情報収集の方	法2 図書館の利用力	方法ラピタデ	スクの利用方法	去施設見学	(宣教師館・学	生相談室・ዻ	1号館)		
授業外学修内 図書館で関心のある文献を3冊以上借りて		上借りて読ん	んでくること。		時間	雪数 2				
4週目										
授業学修内容	レポートの作成	找技術1 作成のプロセ	·ス・テーマ	選定と資料探し	,					
授業外学修内 容	業外学修内 テーマを決定し、資料を収集しておくこと。		 らくこと。			時間	雪数 2			
5週目										
授業学修内容	チャレンジ奨学	全金体験報告会レポー	ートの作成技	支術2 レポートを	作成する					

授業外学修内 容	レポートの構成を考え、Wordで下書きを作成しておくこと。	時間数	2					
6週目								
授業学修内容	スポーツ・レクリエーション交流会(合同ゼミ)体育館で行うので運動着及び上靴を	:準備すること	0					
授業外学修内 容	レポートを完成させること。	時間数	2					
7週目		•						
授業学修内容	タ シャロン祭の取り組みについての話し合い(前半)パワーポイントの作成方法について(後半)							
授業外学修内 容	パワーポイントのスライドの作成を進めること。	時間数	4					
8週目			-					
授業学修内容	レポート添削(個人指導)							
授業外学修内 容	指摘された箇所について、ラピタデスクでの相談を経てから修正しておくこと。	時間数	2					
9週目								
授業学修内容	2年生のプレゼンテーションから学ぶ							
授業外学修内 容	2年生の発表を踏まえ、レポートの構成の修正をしておくこと。	時間数	2					
10週目			•					
授業学修内容	プレゼンテーションの技法1パワーポイントによるアウトラインの作成							
授業外学修内 容	次回までにアウトラインを完成させておくこと。	時間数	3					
11週目			-					
授業学修内容	教育講演会							
授業外学修内 容	課題感想文を次回提出すること。	時間数	3					
12週目		•						
授業学修内容	プレゼンテーションの技法2スライドの作成・発表の練習※課題感想文提出							
授業外学修内 容	次回の発表会に向けてプレゼンテーションの練習をしておくこと。	時間数	3					
13週目			-					
授業学修内容	パワーポイント発表会1(各ゼミ)							
授業外学修内 容	修正版レポートを完成させること。		2					
14週目								
授業学修内容	パワーポイント発表会2(各ゼミ) ゼミ代表の決定修正レポートの提出							
授業外学修内 容	修正版レポートを完成させること。		2					
15週目								
授業学修内容	修正レポートの提出ゼミ代表による発表会夏休みの課題の出題ポートフォリオ評価法について・ファイル のまとめ方							
授業外学修内 容	本演習のまとめをしておくこと。また、夏休みの課題に取り組む準備として、 図書館等で5冊以上の文献を借りること。	時間数	6					
上記の授業外学修時間の合計			38					
その他に必要な		52						

Number	SEM-1-001-ky	Subject	Freshman Basic Seminar I		
Name	後藤さゆり(Goto Savuri)	Year and S emester	First semester fo r 2020	Credits	2

Course utline In this course, we will "learn how to learn" at college. The way to learn in college is different fro m in high school. This seminar will teach you how to learn as a college student. The contents will include learning methods for collecting academic information (how to use the library, how to sea rch for materials and documents), listening techniques and reading techniques to understand le ctures, methods and techniques for debating, presentation techniques, and techniques for creating reports.?